
ARIA ~ザ・アッヴェニーレ~

伊神讖

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ARIAS ザ・アッヴェニーレ

【Zコード】

Z8746F

【作者名】

伊神 譲

【あらすじ】

時は刻まれ、季節は移り変わる。別れは新たな出会いへの入り口。

その 新しい水の妖精

その 新しい水の妖精

「愛ちゃん、アリシアさんの引退セレモニーは昨日に行われました。今日からは、私の

アリアカンパニーの始まりです。不安はいろいろあるけど、笑顔で送り出したアリシアちゃん

を心配させないためにも、一人前のプリマウンディーネとして、頑張ります。」といつ

の間にか生活の一環となつたマンホームにいる愛ちゃんにメールを送つたあと、私は一階

に降り、朝ご飯の支度を始めた。

コーンスープをつくりながら、アリア社長が後ろのリビングで新聞に載る四コマ漫画

を読んで、なりますかのよつにセリフを言つのを聞きながら、私は意味もなく、笑顔が

浮かぶ。その時、ドアベルが鳴り、いつも朝のこの時間に訪れるシリフのウッディーさん

んだった。浮き島に住むウッディーさんの実家が一ワトリを飼い始め、こうして毎朝二ワ

トリの卵を分けていただいている。一人になつた私へのウッティーさんなりの気配りでし

ょう。部屋に戻り、できた朝ご飯をテーブルに運び、初田目のアリア社長と一人つきりの

朝ご飯を食べる。いつもやばにいるアリシアさんがいなくなり、慣れない感じはあるが、

寂しくはない。なぜなら、アリシアさんと過ごして来たステキな時間は今、この空間に漏

れなく閉じこまれている。思い出せば、幸せなことばかりだった。そう思いつつ、アリア

社長の元気よく、ご飯を食べ急ぎ、ご飯つぶがほほにつくのを拭き、「わっくつと食べて

くださいね」と微笑みだす。

片付けを終え、いよいよシャッターを上げ、私の最初の一日が始まる。上げたシャッタ

ーと同時に、冬の朝に吹く、冷たく、気持ちのいい風が吹き込んでくる。ちよつと寒いが、

こんなの、今の私には全然平気な気がする。

カフュフローレンスの店長さんと暁さんのお兄さんの紹介でいた

だいたい予約を確認しながら

「、リストをアリシア社長に読み上げる。」との時、マンホームいる
愛ちゃん」と同じく、日

本から来たお客様の名前に気づいた。思えば、前回来た愛ちゃんの
メールに、初等教育を

終えたとの知らせがあった。今更、愛ちゃんはどうしてこられるかな
と思いつながら、アリシ

アたんから手渡されたオールを取り、アリシアさんと一緒に水を滑
つてきて、これから私

と一緒に車へリランと一緒に水を滑
迎いで澧を出す。

つづく

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8746f/>

ARIA～ザ・アッヴェニーレ～

2010年10月10日17時28分発行